

陳情第 3 号
2023 年 2 月 13 日

国立市議会議長 青木 健 様

甲州街道から南アヲサに向かう歩道を、
車いすの人でも安心して往復できるように に関する陳情
作りかえることを求めること

陳情の趣旨

国立市長、及び市職員の皆様、市議会議員の皆様にはいつも
お世話になっております。

過去にも、この道のことでもバスを増やして頂きたいと陳情し不採択と
なりましたが、不採択後数年間は、増便されたような気がして、とても使い
やすかったことを覚えています。

その後は、利用客数が望めない時間帯のせいなのか、元通りの便数
運営になってしまったようです。

それでも、体力があるうちは、バスがあれば家から40分で行けるところも、2
時間かけて車椅子を自走して行きました。

そこで、なぜ福祉有償運送を使わないのか、皆様は疑問を持た
れると思いますが、福祉有償運送のタクシーは、乗客件数増加のためか、

二半年以上、わたくしには対応していただけません。

矢川馬尺から甲州街道の横断歩道を渡り、南アウザンに行くには、車道の方に傾斜している歩道の場合、車道に対してハンドレイルを正反対にきり、体重を車道と正反対にかけると、あの狭い歩道も走行できました。しかも片側の歩道は、住居で埋め尽くされていますので、傾斜角度が激しく、元々通れませんでしたので、辛うじて、可能性のある反対側の歩道を使用しておりましたが、何回も車道に落ちそうにナリ、自分でも驚くほど体力が衰えたと痛感せずにはいられませんでした。

先日の会議終了後は、歩道を走行することを諦め、車道を走行して帰ってきました。バスもタクシーもなく、最寄り馬尺まで自走しました。

この陳情を精査して下さい皆様には、是非、電動車椅子に乗って歩道と車道の両方を走って頂きたいと思ひます。どんなにか、命がいくつあっても足りないと痛感して下さることでしょう。

南アラザまでの道のりを安心して往復できる歩道を、1人ステップにするとか、バスの増便するとか、(行きは時台2本増便、帰りは時台2本増便)、福祉有償運送タクシーを増やすとか、車道を一通にして歩道を広げるとか、一刻も早く、この件を解決して下さい。

陳情事項

- ① この件を解決するにあたり、この問題を解決に導く市長、担当所管、議員は甲川街道から南アラザまでの歩道と車道を電動車椅子で走行する社会実験を行うこと。
- ② 一刻も早く、この問題を解決すること。